

## 「高知県立嶺北高等学校×京都府立北桑田高等学校」交流研修会

10月30~31日の二日間にわたり、土佐町にある石原コミュニティセンターにて本校生徒6名と北桑田校生4名が交流しました。株式会社高知銀行が主催した今回の交流会は、コーディネーターとして谷俵太（越前屋俵太）さんが参加し、終始、笑いの絶えない活発な交流の場となりました。

一日目は、自己紹介と各高校の取組紹介を生徒自身が行い、日々の活動や寮生活など、お互いに気になる話題で盛り上がりました



写真1 自己紹介と取組紹介の様子

(写真1参照)。その後、約30分のミニワーク「ペーパータワー」を2つの混合チームに分かれ実施しました。限られた時間の中で「40枚の紙を使いどちらが高いタワーを作ることができるか」について、自由な発想をもとに真剣にアイデアを出し合

い競い合いました（写真2参照）。終了後には、一緒に写真を撮ったり連絡先を交換したりと、少ない時間でグッと距離を縮めた姿が印象的でした。

二日目は、高知銀行と北桑田高校、土佐町それぞれから木材に関する取り組み紹介があり、その後、本研修会の目玉であるワークショップ「ブレストバトル」を実施しました。「どうやったら若い人が過疎化の進む地域に注目してくれるのか」をテーマに2チームに分かれ、アイデアを出し合い、そのチームアイデアをもとに全5回のプレゼンテーションバトルを行いました（写真3参照）。高校生からは、eスポーツやサバイバルゲームの体験場所の創出や、自然学校や大規模ウッディランドをつくるなど、様々なアイデアとその考えに至った思いや自身の経験が語られました。参加した嶺校生からは、「県外の高校生と交流ができて楽しかった」「思っていたよりもたくさん話せて良い経験になった」という声が聞かれ、



写真2 ペーパータワーの様子

県外学生との交流機会や設定された

テーマに関して考えを巡らし発表する機会をいただけたことに感謝いたします。北桑田高校、関係者の皆さま、2日間誠にありがとうございました。



写真3 ブレストバトルの様子